



©鹿児島県ぐりぶー

第30回国民文化祭・ かごしま2015 閉幕

たくさんのご来場ありがとうございました！

全国はんやの祭典

10月31日(土)、はんやの祭典を盛大に開催しました。

はんやサミット

全国のはんや踊りの代表者などによるシンポジウム「はんやサミット」。このなかで、今後のはんやの取り組みなどについて、活発な意見交換を行いました。

はんや響演

秋田県の大正寺おけさ保存会など県外の12団体、本市の正調川内はんや節保存会を含む県内2団体の、総勢約230人が、それぞれの地域に受け継がれた「はんや踊り」を披露しました。また、向田公園では、全国はんやの祭典に合わせた「食のうんまか市」も同時開催され、多くの来場者でにぎわいました。



説明をお受けになりながら「正調川内はんや節」をご鑑賞される皇太子殿下



優美な舞いで観客を魅了

薩摩川内はんやまつり

約80団体、5300人による踊り連の踊りや音楽隊・みこしパレード・武者行列などが行われ、会場となった国道3号は熱気であふれました。夕方から夜にかけての開催は、今回初の試み。昼とは一味違った雰囲気のほか、お祭りも最高潮へ・・・。



はやし囃子と威勢のいい掛け声で一体となって

薩摩川内こころの川柳大会

11月1日(日)開催の薩摩川内こころの川柳大会では、当日投句を実施し、約320人から640の投句がありました。国内外から集まった約3万7千句の事前投句の特選句と当日投句の特選句の中から、文部科学大臣賞をはじめとした各賞の決定、表彰式を行いました。

その他、入来麓伝統的建造物群保存



大人顔負け 圧巻のはんやを披露

小学生によるはんや踊り競技会

11月1日(日)、本市内の小学生10チームによるはんや踊りの競技会を開催。集まった約1千人の来場者が、切れのある子どもたちの踊りに見入っていました。

文弥節人形浄瑠璃の祭典

11月8日(日)、国の重要無形民俗文化財として、全国で4県5箇所のみ保存会が全国で初めて一堂に会しました。合同公演、パネルディスカッションを開催したほか、来場者980人が、現代に息づく古典芸能の素晴らしさを堪能しました。



於：川内文化ホール

下甕島会場

11月7日(土)、下甕島の鹿島町で恐竜化石等展示、化石発掘体験、恐竜化石等クリーニング体験、恐竜化石等講演会などを実施。迫力ある恐竜化石標本の展示に、来場者から歓声が上がりました。翌8日(日)は、下甕島で、郷土芸能発表、農林水産物販売、秋太郎解体ショー、郷土料理試食会などを実施。新鮮な山海の食材を使った郷土料理に、参加者は舌鼓を打ちながら、自然の恵みを満喫していました。



於：下甕島会場

甕島の生活と文化の祭典

上甕島会場

国定公園に指定された甕島。10月31日(土)、11月1日(日)、上甕島で、郷土芸能発表、郷土料理試食会、特産品販売や上甕島観光、断崖クルーズなどを実施しました。



於：上甕島会場

文芸

全国まごころ短歌大会

11月3日(火)開催の全国まごころ短歌大会では、国内外から1万5千首が寄せられ、当日は、入賞作品の講評と表彰のほか、「若者の歌・老いの歌」と題した対談も実施しました。

大会前日には、本市を旅した与謝野鉄幹・晶子夫妻の足跡や史跡を辿る文芸散策も行いました。



小島ゆかり氏×伊藤一彦氏の対談
約450人の参加者が静聴

(小・中学生の部 最高賞作品)
いもほれば みんなのこころ
いちれつだ

(一般の部 最高賞作品)
津波にも 耐えた宿です
ごゆつくり

(小・中・高 中学生の部 最高賞作品)
特攻に死にし子の名ぞ太郎湯と
煙突かかげし湯屋も仕舞いぬ

(小・中・高 中学生の部 最高賞作品)
それのいろ
たんぽにうつりきれいだな
おたまじゃくしがそらをとんでる

(小・中・高 中学生の部 最高賞作品)
秋田県の大正寺おけさ保存会など
県外の12団体、本市の正調川内はんや
節保存会を含む県内2団体の、総勢約
230人が、それぞれの地域に受け継
がれた「はんや踊り」を披露しました。

また、向田公園では、全国はんやの
祭典に合わせた「食のうんまか市」も同
時開催され、多くの来場者でにぎわい
ました。